

緑化意識の普及啓発のための 小学生向け教材「みどり」って?の開発

■著者名、所属
○川口 将武：大阪産業大学 デザイン工学部 建築・環境デザイン学科
井上 博晶：特定非営利活動法人 環境デザイン・エキスパート・ネットワーク
川本 晶子：特定非営利活動法人 環境デザイン・エキスパート・ネットワーク

■キーワード
①緑化意識 ②普及啓発冊子 ③小学生 ④官民学協働

01 はじめに

(1) 背景と目的

府民が実感できる「みどり」が足りないと言われている大阪府では、「みどりの風を感じる大都市・大阪」の実現に向けて、府民や企業と共に、みどりづくりに取り組んでいる。「みどり」を増やすことは、人々の理解と協力、協働に支えられてこそ実現するものであるため、多くの府民の「みどり」に対する正しい価値観や行動様式の変化がますます求められている。

そこで今回、大阪の「みどり」づくりを担う子ども達も「みどり」について学べる教材として、緑化啓発パンフレット『みどりって?みどりのおかげ みどりのいいこと』を官民学協働で制作した。

本パンフレットを府内の小学校での環境教育のツールとして活用し、「みどり」の意義や重要性を伝え、「みどり」を増やし時間をかけて守り育てる次世代の担い手育成のために役立てることを目的とする。

(2) 環境教育に関わる教材

環境教育に関わる教材は、地球温暖化、エネルギー、ゴミ（リサイクル）、生物多様性等のいわゆる環境問題に関するものが多い。今回のような「みどり」をテーマとしたものは、全国的にはほとんど無い状況であり、オリジナリティが高いといえる。



(3) 制作するにあたっての基本的方針

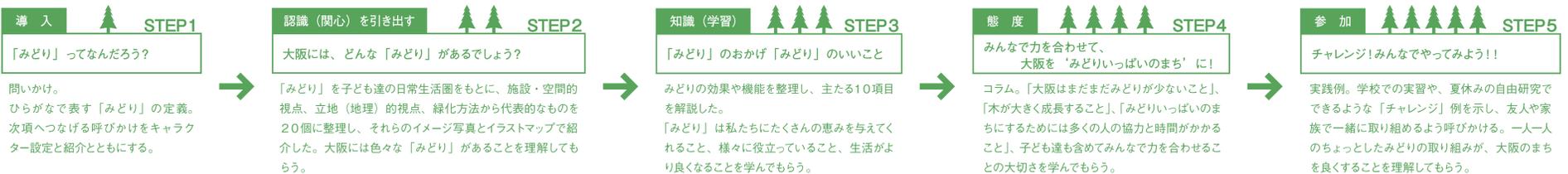
- 子どもだけでなく親や学校の先生にも興味をもってもらえるようなものにする。
- 夏休みの自由研究テーマ探しの参考となるよう実用的なものにする。
- みどりへの無関心層からみどり好きな人まで幅広い層に支持されるものにする。
- 「知る」→「触れる」→「増やす・守る」といったように、みどりの関わり方を段階的に理解できるような構成にする。
- 読んだ後に具体的なアクションを起こすことの出来るようなものにする。
- 「大阪らしさ」がでるような地域色のある、楽しいものにする。
- 手元に残しておきたい（コレクションしたくなる）ような、ビジュアル的に魅力的なものにする。

02 パンフレットの仕様とページ構成・内容

(1) パンフレットの仕様

- 配布対象
小学校高学年【大阪府内の小学校5年生】。
小学校の教科書には、「緑」や「緑化」をテーマにした掲載はされていない。季節探しは1・2年生の生活で学び、気温の変化については3・4年生の理科で、発芽や光合成等植物に関わる事については5年生の理科で学んでいる。小学校の学習指導内容から5年生をメインの対象とした。
- 紙面サイズ（形状とスタイル）
A4変形サイズ（H210mm×W210mm）の中心じ冊子、表・裏表紙を含めて16ページ。フルカラー。
正方形でかわいらしく、少し変わった印象を受けるものにした。本棚から少し飛び出るサイズとした。
- 文字サイズ、ルビ（フリガナ）
本文の文字サイズは15pt、フリガナは7pt。
社団法人教科書協会「平成20年度教科書充実のための仕様等の工夫に関する調査研究」報告書（平成21年3月）を参考にした。
- 文字フォント
丸ゴシック系フォント「じゅん」。
絵本や雑誌の本文に使用され、手書きのイメージを残し、優しい印象、少し大きく見え、読みやすい等の理由からこのフォントとした。
- 紙質
マットコート紙。
子どもが少々手荒な扱いをしても破れない厚みのあるもの。教材利用する際に鉛筆で書きこみやすく、柔らかい手触りの紙とした。
- イラスト等
読んでいて飽きがこないようにするために、写真やイラストを大きくし、ビジュアル的にした。また、夏休みの自由研究テーマ探しの参考となるような題材をできるだけ多く入れた。

(2) ページ構成と内容（伝えたいこと）



03 デザイン的検討課題（デザインに秘めた想い）

表紙

タイトルのつけ方

- 企画段階では、「みどり探検隊が行く!」。途中段階までは、「ひらがなみどり」。教育委員会へのヒアリングを行い、最終的に「みどりって?みどりのおかげ みどりのいいこと」とした。より多くの人が、即座に理解出来ないような名前よりも、万人が分かることや問いかげられる方が興味を持ってもらえるとの判断からこの名前に決定した。
- パッと見て、中を見てみたいと直感的に思ってもらえるデザインを目指した（訴求力）。ページ番号のイラストがページを追うごとに変化していくことで、読み進める楽しみのしかけ、メッセージとした。

P1~P2 「みどり」ってなんだろう?

キャラクターの設定

- キャラクターは、ジェンダーフリーの課題から男女の区別がはっきりしないよう「服装・髪型・相性・名前」に留意した。

みどりの定義

- 大阪府及び近隣の自治体が策定した緑の基本計画を中心に、ひらがなで表記された「みどり」の定義を調査し、共通点や差異などを分析する中から定義をおこなった。
- 色々なみどりがあることを住んでいる大阪を舞台に紹介し、みどりに親しみをもってもらうようにした。また、実際に行ってみたく思えるような魅力的な写真を選定した。子どもと親とが休日のレジャー、レクリエーションを話さきっかけ、ガイドとしての使いみちへ発展できないか期待した。
- 写真選定の際、造花などの人工的なみどりは対象外とした。

P3~P4 おおさかにはどんなみどりがあるかな?

イラストマップと写真で想像力UP。親子のコミュニケーションツール

- 正確ではないが、大阪のみどりの骨格的構造イメージにどことなく似ているイラストマップとしたことで、自分のまちや家はどこか等、子ども達の想像力をかき立てる仕組みとした。
- 色々なみどりがあることを住んでいる大阪を舞台に紹介し、みどりに親しみをもってもらうようにした。また、実際に行ってみたく思えるような魅力的な写真を選定した。子どもと親とが休日のレジャー、レクリエーションを話さきっかけ、ガイドとしての使いみちへ発展できないか期待した。
- 写真選定の際、造花などの人工的なみどりは対象外とした。

裏表紙

パンフレット印刷のスポンサー探し

- パンフレットの印刷に協力してもらえる企業を大阪府環境農林水産部環境農林水産課施策推進グループのWeb上で3週間程度公募した。緑化事業、施策で協力を受けたことのある企業等に協力を呼びかけた結果、大和リース株式会社に協力してもらえたこととなった。
- 他の企業からも緑化啓発パンフレット制作への理解や興味を示す声がかけている。また、印刷協力を得た大和リース株式会社の社内でも、出来栄に対する反応も良かったとの感想があった。

P5~P8 みどりのおかげ みどりのいいこと

数字とビジュアル、明解なテキストで子どもの理解度や興味をUP

- みどりは多様な効果や機能、役割、意味を持っているが、「10個」という覚えやすい項目に集約して説明することで子ども達の記憶や印象に残るように検討した。また、説明文については主観的な価値観に左右されるような表現をできる限り避けるようにした。
- みどりの効果や機能の内容がより理解できるよう、ビジュアル的に表現した。また、写真は身近な大阪府内のものをできる限り収集して配置した。
- 子どもには少し難しい内容等は、大人と一緒に学べるように、大人向けの文章を小さめの文字でページ下に表記した。

P11~P13 チャレンジ1~3

みどりやまちに実際に触れる、チャレンジしてみたくなる身近なテーマ設定

- 実際にやってみたいと思えるような内容とした。
- すぐできるものから時間をかけてチャレンジするものまで、3つのジャンルを取録した。
- 長々とチャレンジの解説を書かず、興味やわく内容、豆知識を記載し、ビジュアルに工夫を凝らした。今の小学生はWeb検索できる環境が十分あると考えたため、詳しい内容（作り方や解説）はWeb検索で!という方法をとった。

04 これからの展開

夏休み期間中に大阪府内の全小学校への発送が完了し、新学期には約8万人の小学5年生全員の手元に渡った。現在、各小学校の授業等で活用していただけるよう呼びかけをしているところである。また今後、小学校の先生方や児童への評価アンケートを実施すると共に、このパンフレットを使ってみどりについて学ぶ「出前講座」も実施していきたいと考えている。チャレンジページで考案した「マイみどりマップ」や「緑視率計測法」等を手軽に実施できるようなキットを制作し、緑化意識の普及啓発をすすめていく。

■制作体制：企画・構想は、大阪府環境農林水産部および都市整備部、公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会 企画事業部、大阪市建設局 公園緑化部が担当し、調査企画・編集は大阪産業大学と特定非営利活動法人 環境デザイン・エキスパート・ネットワークが担当し、デザインは菊澤デザイン事務所&こゆりが担当することにより、官民学協働で制作した。

■参考・引用：大阪府HP「みどりの風を感じる大都市・大阪」<http://www.pref.osaka.lg.jp/kannosomu/midori/ryokkapanfu.html>

■連絡先：川口将武 (masa@edd.osaka-sandai.ac.jp) 大阪産業大学 デザイン工学部 建築・環境デザイン学科 〒574-8530大阪府大東市中垣内3-1-1 TEL 072-875-3001 (内線4366) FAX 072-870-7857